

図書館だより

第143号 2026/6・7月号
大和郡山市立図書館

ケリ 子育て真っ最中！

近所の広い空き地でケリの夫婦が子育てを始めました。「ケリ」とは、『読んで楽しむ野鳥の事典』（鳥監修 上田恵介 絵 ねもときょうこ 2025年 成美堂出版刊）によりますと「ハト大のチドリの仲間で、体の割に長い足が特徴です。」とあります。

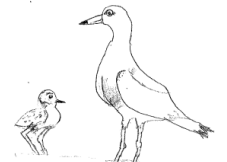
色合いがけっこう地味なので、じっと地面に留まっていると、よっぽど注意して見ないと気が付かないところですが、飛んでいると白い羽が際立ち、「きりきりきり」と始終けたたましく鳴くので、目立ってしかたがない。あまり毎日毎日、朝から晩までよく鳴くので、ついついこちらも暇に任せて、空き地を見ていると、小さなヒナがとことこ歩いているのを発見しました。なるほど、このヒナを守るために、「きりきり」鳴いていたのかと納得しました。

この鳴き声、穏やかな声の時と緊張感のある声の時があります。『ぼくには鳥の言葉がわかる』（鈴木俊貴著 2025年 小学館刊）は、シジュウカラの研究でしたが、ケリだってきっと特別な単語や文節、音の強弱や鳴く間隔を使い分けて、子育てや外敵からの襲撃に備えているに違いありません。

だって、住んでいる場所や、食べているものが違って、親から子へ、伝えるべきことは同じはず。

そんなことを考えながら、さらに暇に任せて、観察を続けていると、「551があるとき！」みたいに、何も「外敵らしきものがないとき！」は、おだやかなやさしい声で「きりきり」の「きり」の間隔を長くあけて鳴いているように聞こえます。

きっと「今は安心して自由に遊んでいいよ。でも、あまり遠くへ行かないでね」などと言っている感じ。しかし、上空にカラスの姿が見えると、すぐに出動。「トップガン」のトム・クルーズばりのスピードで飛び立ちます。「きりきりきり」とひっきりなしに鳴き、カラスを威嚇し、後を追いかけて回します。1羽で対処できないときは2羽目も出動。夫婦の共同作業で姿が見えなくなるまで続けていきます。



カラスがいなくなってひと安心。かと思いきや、ちょっと目を離すと、いずれの子どもも同じでとことこ歩いて目の届かないところへ行ってしまう。敵はカラスばかりではありません。へびだっているし、もしかしたらイタチなんかもいるかもしれません。夜中になっても「きりきり」はやまず、ケリ夫婦の心配は絶えません。

早くヒナが巣立ってくれないと親鳥も安心できないし、観察もやめられません。

大阪市立自然史博物館で絶賛開催中の「特別展 鳥」にも「ケリ」は展示されています。なにしろ一生分の鳥が展示されているぐらいですから。

おまけ：『野鳥はともだち』（ジェス・バーキング／文 デヴォン・ホルズワース／絵 さくまゆみこ／訳 2026年 子どもの未来社刊）が入りました、バードウォッチングをひろめたフローレンス・メリアム・ベイリーさんについて書かれた絵本です。ベイリーさんは、野鳥を一人で観察するだけでなく観察会を開き、観察図鑑を書くことにより、多くの人を巻き込んで、野鳥を守り、野鳥を愛する気持ちを育てました。



図書館の「と」

図書館の「と」は図書館のことについてゆるく紹介していくコーナーです。

図書館の中はテーマ展示がいっぱい！

図書館では、今月も館内のいろいろな場所でテーマを決めて展示を行っています。

ふだん興味のある作家や好きなジャンルなどから本を選ばれることが多いかと思いますが、この展示コーナーでは、その時々話題や季節などからテーマを決めて本を集めていますので、今まであまり目にとまらなかった本にも出会っていただけるかも？と期待しています。

1階カウンター前の棚では、ますますおもしろくなってきました、「2026年大河ドラマ豊臣兄弟！戦国時代展～戦国の世を生きた人々～」



入口正面の新刊棚の横では、向かって左側が「食育月間♪」、右側が今も根強い人気「没後30年 司馬遼太郎の世界」、新刊棚の裏側は、「男女共同参画社会・女らしく・男らしくでなく自分らしく」。

さらに YA コーナーでは、心揺さぶられる「ヒューマンドラマ」。今回のテーマは、図書館にインターンシップにきてくれた高校生が考え、案内のサインもつくってくれました。さらにミニ展示では「第2回10代が選ぶ海外文学大賞」候補作品がそろっています。



2階児童室、階段を上がって正面の新刊棚の横では、これからの季節「あめ傘雨だ～！」。

奥に進んで窓側、児童文庫の棚の上、バルーンコーナーでは、児童読み物展示。「子どものころから知っておきたいだいなだいなお金のはなし」、ほんのちょっとの勇気をもって「ぼうけんのたびに出かけよう」がテーマです。



ここに展示した本は、図書館ホームページの「本を探る・予約・パスワード検索」→「資料検索」→「テーマ別検索」で各テーマの本をご覧いただけます。館内 OPAC では、「検索メニュー」にある「テーマ別検索」を選んでください。来月もお楽しみに！

かくれた1冊♪ 司書のごひいき本

『へんないきもの』（分類 480）

バジリコ株式会社 早川いくを/著

皆さんは不思議ないきものを見たことがありますか？擬態するタコ、再生能力が高い生物、人間が生きられない世界でも耐えられる微生物など、この世には説明がつかない生物がたくさん存在しています。

私たちから見れば不思議かつ不気味に捉えてしまいますが、彼らはこの広い大自然で生き残るのに常に必死です。そのため、それぞれがどうすれば生存戦略で勝っていくのが当たり前の世界です。だからこそ独特なフォルム、特徴的な行動などといった人間からみて不気味な感じに捉えがちになってしまいます。

でも、だからこそ愛らしく感じますし、どこか感動してしまう場面もあります。そして少しマヌケな部分もギャップがあって、より応援してしまいます。変な行動に見えるけど彼らは必死ですし、全力で今も生きています。

その生き方に笑えるか感心するか色々考えさせられる図説です。

（司書 N）



『喫茶店の水』（分類 748）

左右社 qp/著

透明感あふれるコップに入った水と、水を通して見るどこか懐かしい喫茶店の光景。水彩画家である著者が誰もが知る有名な純喫茶や、新世代の喫茶店、ふらりと立ち寄った旅先の喫茶店まで、さまざまな喫茶店の水の写真を撮影、エッセイとともに収録しています。

普段は見向きされない、喫茶店の水に注目した写真集は日本初？グラスの形状も店により様々で個性がうかがえます。

喫茶店の水を通して語られる素朴な日常、出会いと別れ、生きていく上でのあれこれに考えさせられます。

（司書 T）



6月～7月の催し案内



だっこでおはなし会 場所:集会展示室
 ～赤ちゃんと絵本やわらべうたを楽しみましょう～
 6/11(木)・6/21(日) ◆10時30分～11時頃
 7/9(木)・7/20(月・祝)
 (対象)0歳から3歳くらいのお子様とその保護者の方

えほんひろば 場所:おはなしのへや
 ～えほんの読みきかせや手遊びなど～
 6/13(土)・7/11(土) ◆14時～14時30分頃
 6/27(土)・7/25(土) ◆11時～11時30分頃
 (対象) どなたでも

かみしばい劇場 場所:集会展示室
 ～昔話や季節の紙しばい～
 6/6(土)・6/28(日) ◆14時～14時30分頃
 7/4(土)・7月26日(日)
 (対象) どなたでも

おはなしの杜 場所:集会展示室
 ～ろうそくのあかりでおはなしを語ります～
 6/7(日) ◆11時～11時30分頃
 7/5(日)
 (対象)4歳～小学生

ビブリオバトル 場所:集会展示室
 7/19(日) ◆14時～15時30分頃
 テーマ「手紙」
 おすすめの本を、参加者それぞれが5分で紹介。

夏のおはなし会 場所:集会展示室
 7/12(日) ◆14時～
 (対象) どなたでも

手話つきおはなし会 場所:集会展示室
 7/18(土) ◆14時～
 (対象) どなたでも



カレンダー

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

開館時間 9:30～19:00

 は休館日です。

図書館HP(利用案内・お知らせなど)



蔵書検索・予約



電子図書館(電子書籍の貸出・閲覧)



Yamatokoriyama City Web-Library
大和郡山市電子図書館